



# みんなでつくる

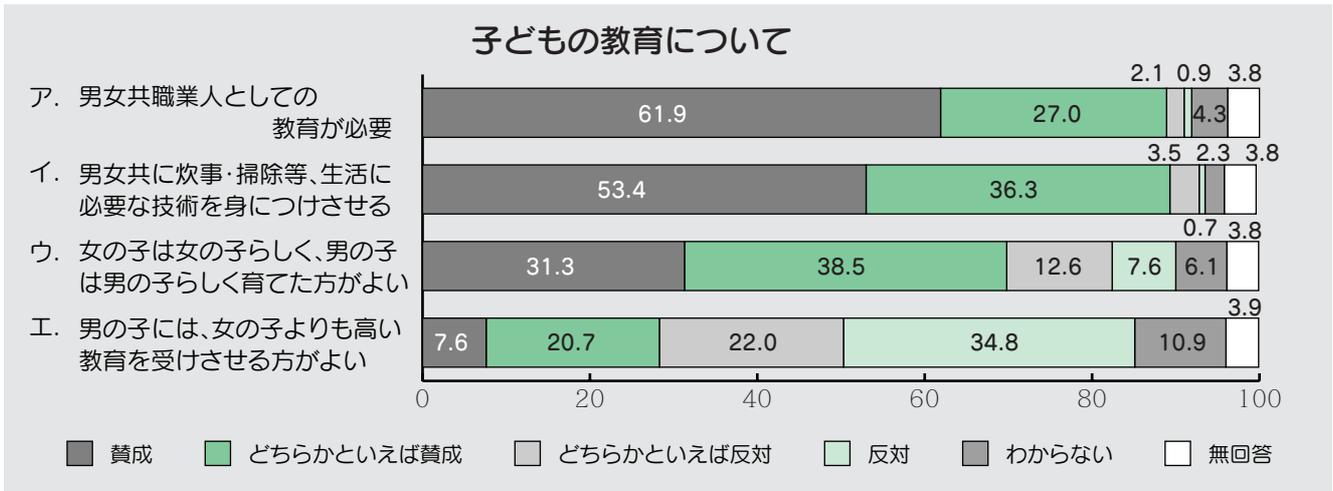
# 男女共同参画社会

## できることから一步一步



### 市民意識調査結果シリーズ③ 子どもの教育 平成18年10月実施

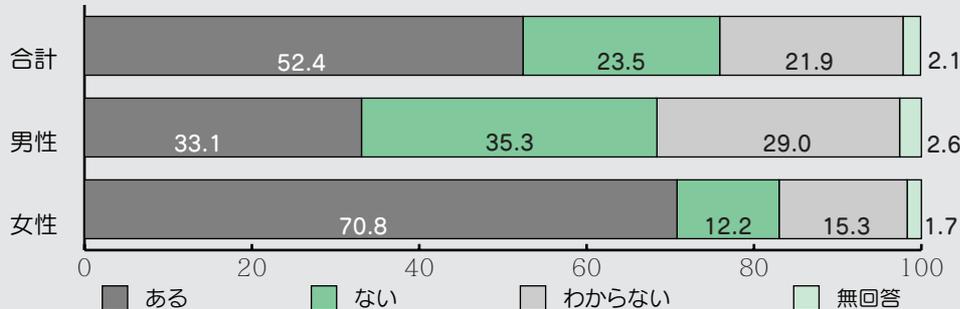
子どもの教育についての考えでは、男女を問わず同じ教育を求めている姿がある（下表ア、イ、エ）一方で、男女差を認める考え方（下表ウ）が見られました。



中学生へのアンケート調査の中の『あなたは女・男「らしく・なのに・のくせに」と言われたことがありますか。』の質問項目で、全体では52.4%が「ある」と回答しています。男女別にみると、男性では「ない」（35.3%）が多いのに対し、女性では「ある」（70.8%）との回答が、非常に高い割合を占めています。

また、「女・男らしく」と言われた時の気持ちでは「いやだと思った」（41.2%）との回答が最も多く、男女別にみると、男性では「何とも思わなかった」（42.2%）に対し、女性では「いやだと思った」（44.1%）と回答しています。

#### あなたは女・男「らしく・なのに・のくせに」と言われたことがありますか。



担当 綿島

もしも時代が逆流して、男女共同参画を推進する以前の時代に戻ったら、女性は、4年生大学を卒業しても思うような就職先にも恵まれず、希望の就職をしても結婚に際して「寿退社」を強いられることに。男性は妻子のために「企業戦士」のモーレツ路線をひたすら歩み、「過労死」「中年男性の自殺」の悲劇も進むという社会に戻ってしまいます。（30年前の日本の姿）  
「男だから」「女だから」の考えで、このような姿に追い込まれるかも知れない子ども達の未来……あなたはどのように考えますか？